

カテゴリー

流通

【種別】 横帳
【資料名】 穀問屋並白米屋面附
【巻次】
【副題】
【記録年】
【刊行年】 明治6年
【編著者】 黒沢銀之助
【出版所】
【寸法】 縦15cm 横37.5cm



【略説明】

当時の二関村(現 一関市)の黒沢銀之助氏が、二関村副戸長に報告した、米問屋と白米商の名簿。

戸長(こちょう)とは、明治22年(1889年)の町村制施行以前に、江戸期の庄屋(名主)などから選出された官吏(行政事務責任者)であり、現在の村長や町長にあたる。従って副戸長は現在の副村長・副町長にあたる。

史料の所蔵元である一関市博物館は岩手県南地域の歴史に関する史料や日本刀の起源の一つとされる舞草刀を中心とした刀剣などを収集・展示しており、市民の生涯学習の場としても利用されている。また同博物館では、蘭学において優れた人材を数多く輩出し、和算が農民にまで浸透していた旧一関藩の伝統を継承するため、郷土の蘭学者に関する展示や和算の普及にも力を入れている。

【所蔵機関】 一関市博物館
【住所】 岩手県一関市巖美町字沖野々215番地1
【連絡先電話番号】 0191-29-3180
【所蔵先URL】 <https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/museum/>
【閲覧】 要申請

開館時間：9時～17時(入館は16時30分まで)
休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、
年末年始(12月29日～1月3日)、臨時休館日あり。
入館料：(個人)大人 300円、大学生・高校生 200円、
中学生以下・65歳以上の一関市民・障がい者とその介護者は無料。
※特別展は別料金。